

新中期経営計画説明資料

2018.05

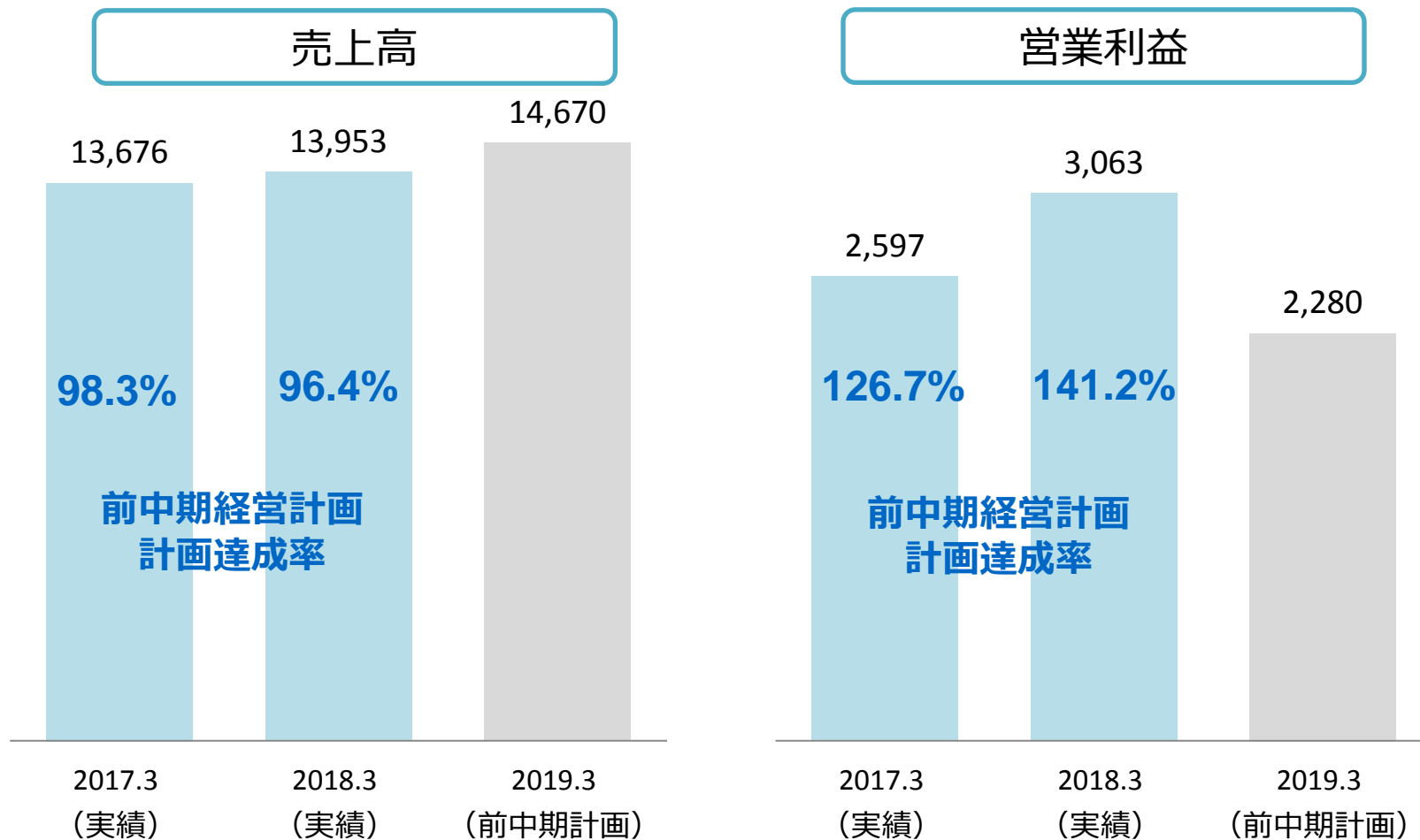


株式会社 EMシステムズ
EM SYSTEMS CO., LTD.
(東証一部:4820)



- p03 : 前 中期経営計画と実績
- p05 : E Mシステムズの目指す姿
- p06 : E Mシステムズを取り巻く業界環境及び今後の取り組み
- p07 : E Mシステムズの基本戦略
- p08 : 中期戦略
- p09 : ビジネスモデル変遷
- p10 : 次世代モデル
- p11 : 新 中期経営計画
 - お客様数推移
 - 売上高・営業利益・営業利益率
 - 5カ年
- p14 : 株主還元
- P15 : 【参考】次世代システムが目指す姿

前 中期経営計画 と 実績 その1



利益については、計画1年目で3年目の目標を達成

前 中期経営計画 と 実績 その2

■ 主なポイント

1. 調剤・医科・介護それぞれの分野のソリューションの強化、販路の拡大、情報連携の実現
2. 新規事業の発掘と拡大・経営の見える化を推進
3. 社内の業務プロセス再構築（BPR）推進によるコストダウンが進んだ
4. 2018年4月医療・介護の同時改定の業績への影響が想定より少なかった

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期
	(前中期計画)	(実績)	(前中期計画)	(実績)	(前中期計画)
売上高	13,900	13,676	14,470	13,953	14,670
営業利益	2,050	2,597	2,170	3,063	2,280
経常利益	2,550	3,163	2,720	3,618	2,830
当期純利益	1,680	2,116	1,820	2,369	1,890

経営理念

「感謝」「感動」「共感」

- ・私達は、人と地球の健康に貢献し続けます。
- ・私達は、お客様から信頼され、感動を提供し続けます。
- ・私達は、明るく元気で、あたたかい会社づくりに挑戦し続けます。
- ・私達は、適正な利益の確保、健全な経営を維持し続けます。
- ・私達は、「ありがとう」を合言葉に、互いを認め、成長し続けます。

会社方針

私達は、先進的なテクノロジーを活用し、
国民の健康レベル向上に貢献する、
世の中に無くてはならない企業になります。
私達は、仕事を通じて幸せになれる企業を目指します。

2018.1.23
リニューアル

E Mシステムズを取り巻く業界環境及び今後の取り組み

業界環境

- 2025年問題と超高齢社会
- 国民の健康寿命延伸（増進）
- I Tの利活用
- 地域での健康サポート
- かかりつけ医、かかりつけ薬剤師

取り組み

- 地域における医療介護情報連携
- A I やビッグデータ活用により医療レベル向上を支援
- 電子処方箋への対応
- 健康サポート薬局の支援機能の提供
- システム操作の簡素化/自動化とシステム費用の大幅削減

EMシステムズの基本戦略

2023年3月迄に・・・

お客様数 シェア

・医療介護情報連携の実現

・先進テクノロジーを活用した
高付加価値製品の提供

・操作の簡素化/自動化と
システム費用の大幅削減

お客様数
アップ

内科システム

2,548件 3%

10,000件 10%

調剤システム

15,879件 32%

25,000件 50%

介護システム

1,314件 0.7%

10,000件 5%

製品サービスの差別化

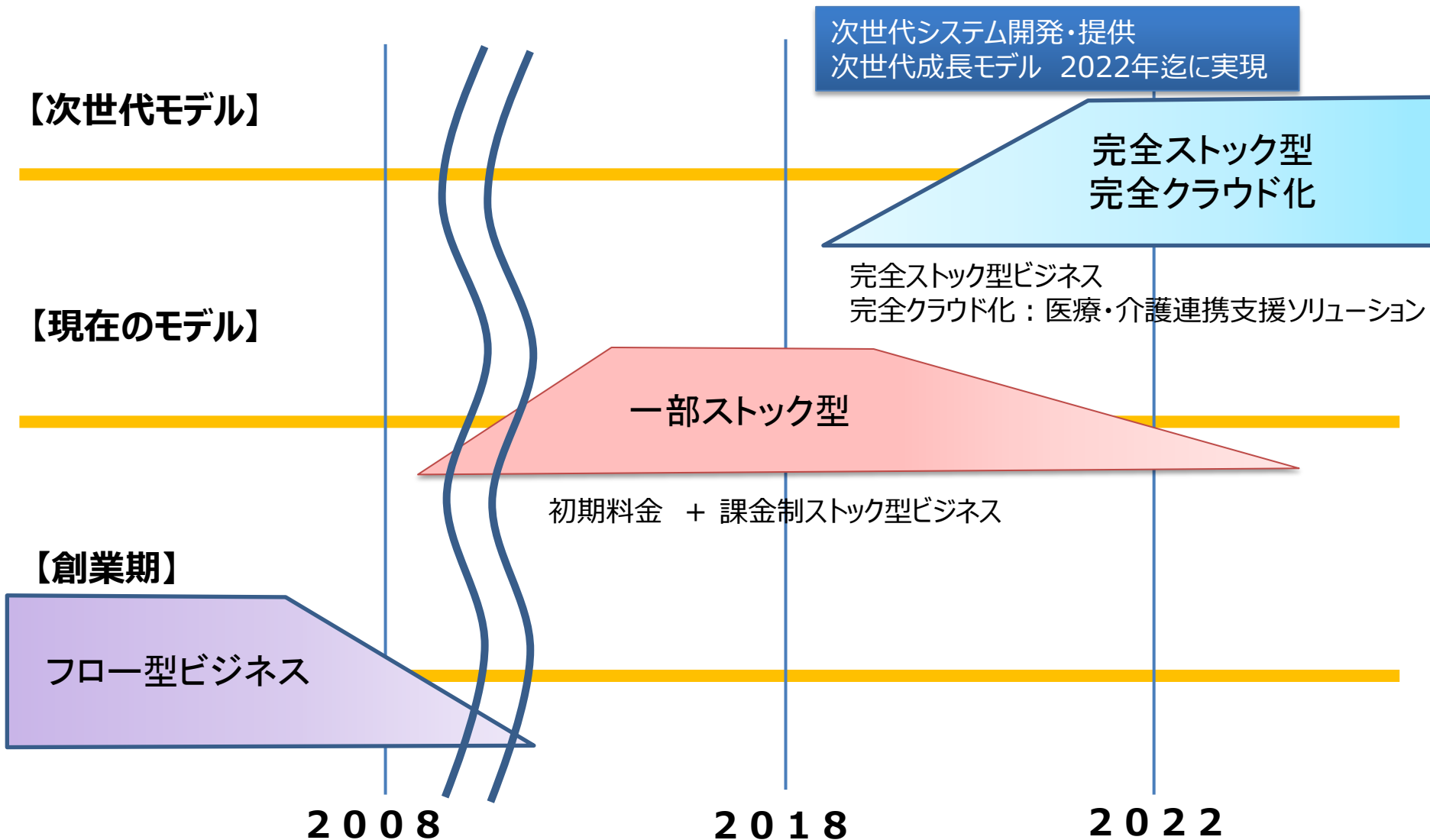
販売チャネルの拡大(サポートディーラー・OEM)

人材の活性化

他社製品との情報連携推進

M&Aの推進

ビジネスモデル 変遷



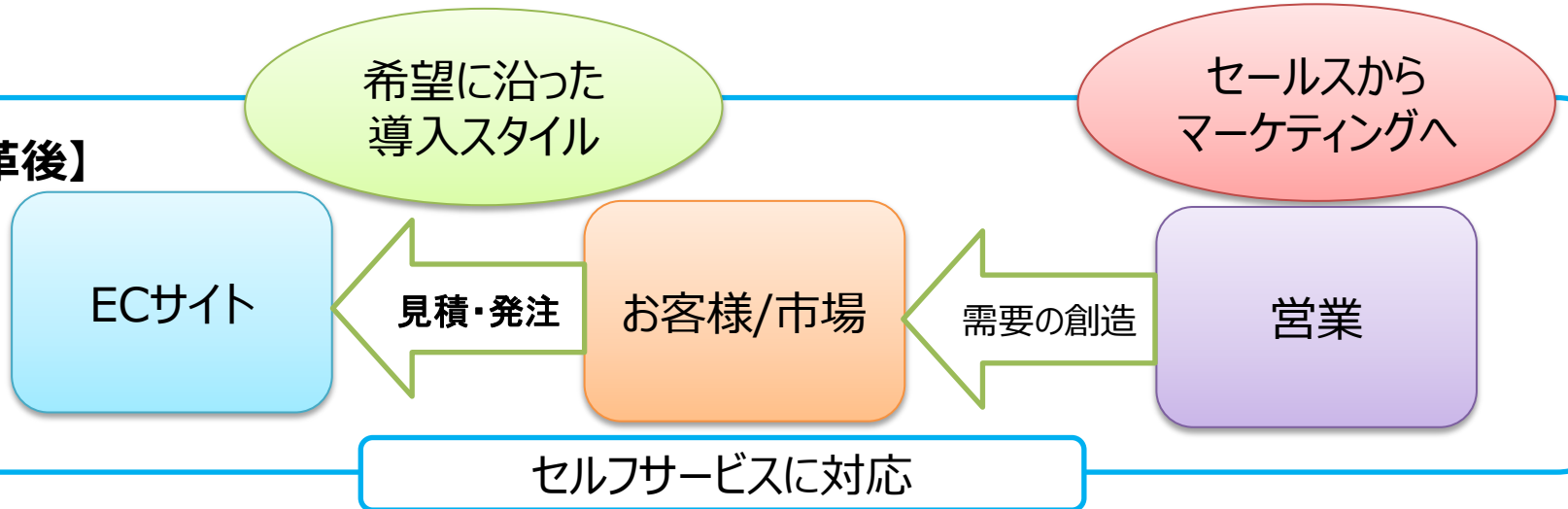
次世代モデル

■ 取引形態の変革

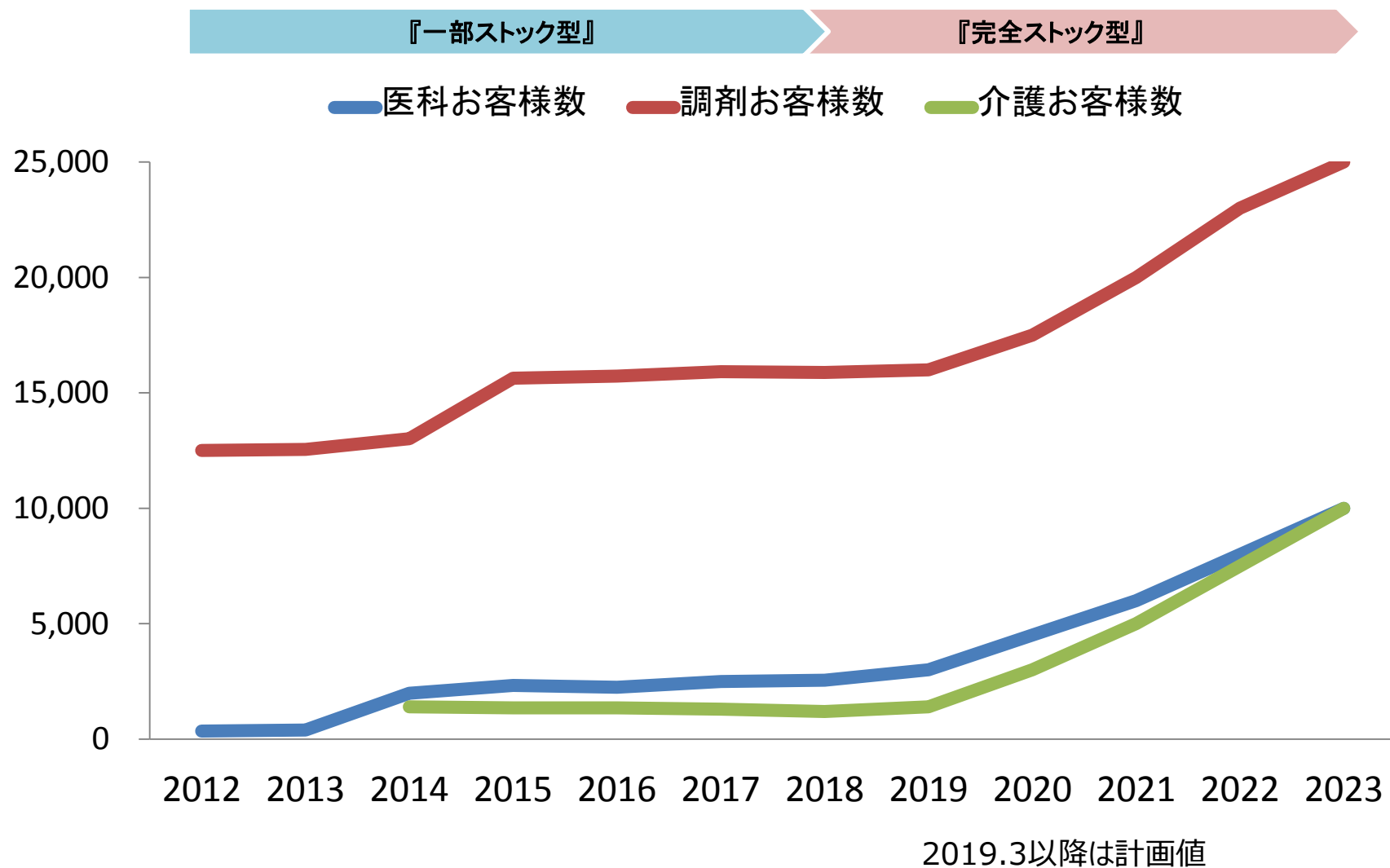
【現在】



【変革後】



新 中期経営計画 / お客様数 推移



新 中期経営計画 / 売上高・営業利益・営業利益率

『フロー型』

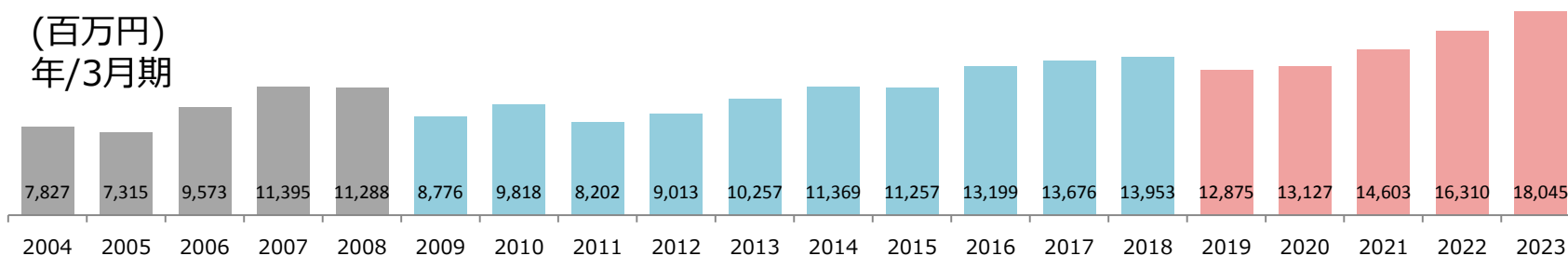
『一部ストック型』

『完全ストック型』

2019.3以降は計画値

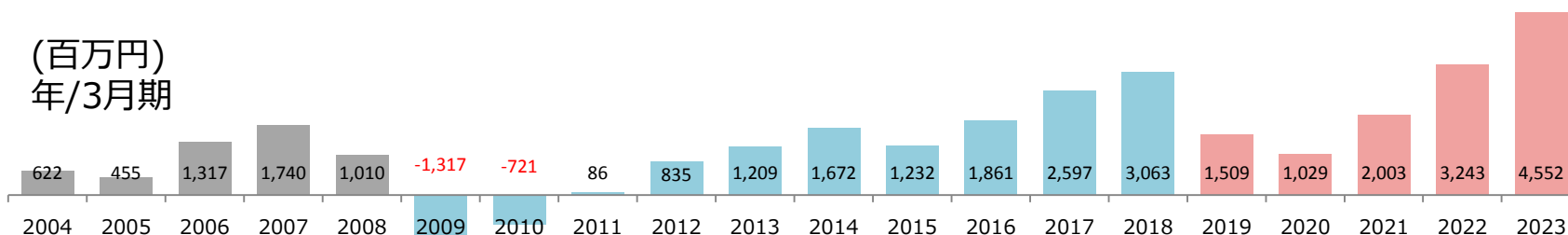
売上高

(百万円)
年/3月期



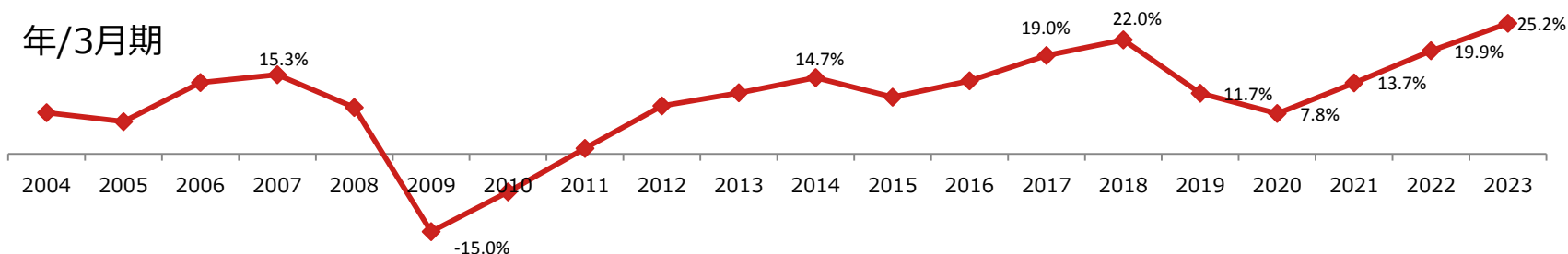
営業利益

(百万円)
年/3月期



営業利益率

年/3月期



新 中期経営計画 / 5力年

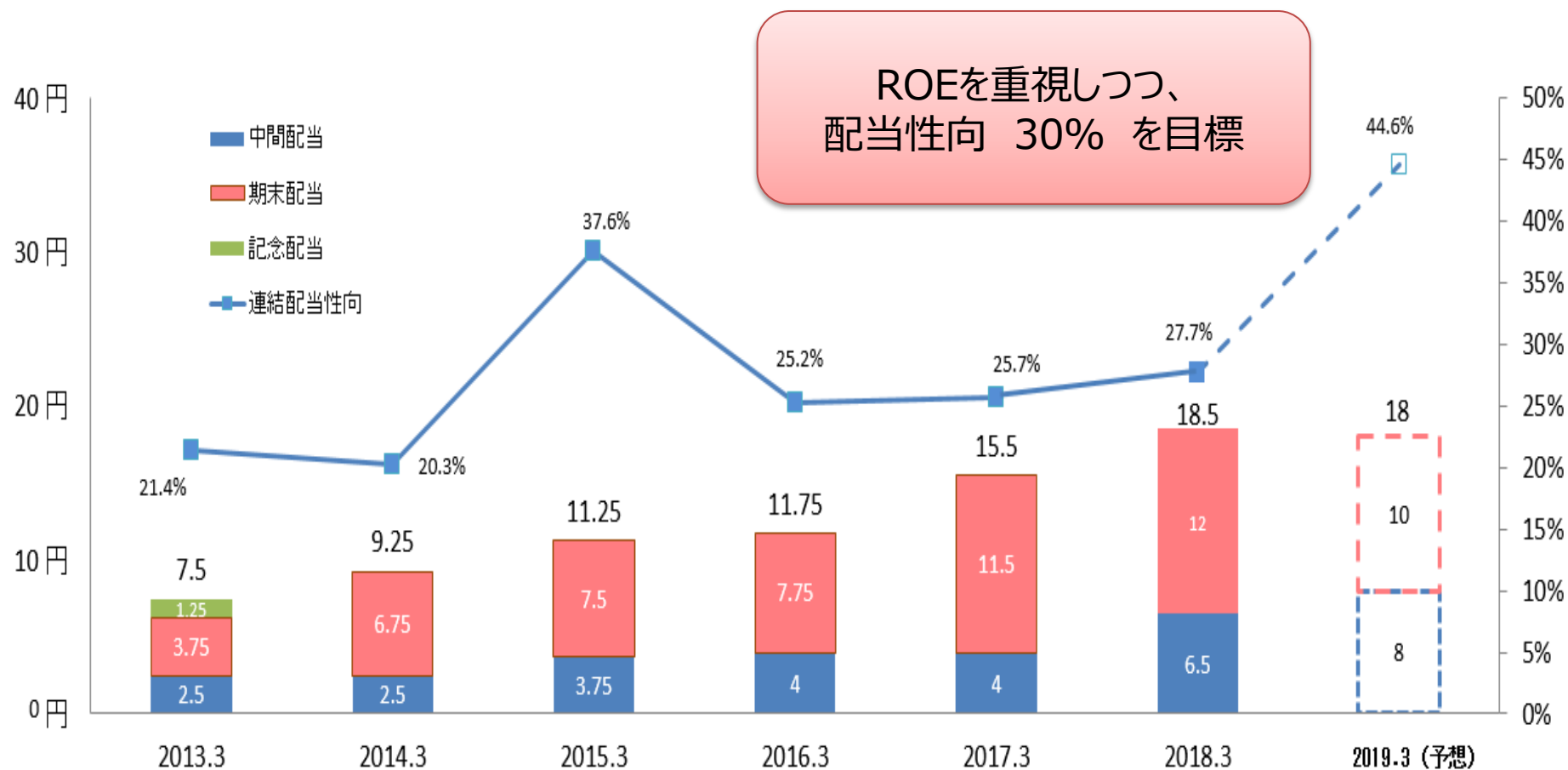
(単位：百万円)

	2019年3月期 (新中期計画)	2020年3月期 (新中期計画)	2021年3月期 (新中期計画)	2022年3月期 (新中期計画)	2023年3月期 (新中期計画)
売上高	12,875	13,127	14,603	16,310	18,045
営業利益	1,509	1,029	2,003	3,243	4,552
経常利益	2,138	1,637	2,598	3,808	5,122
当期純利益	1,432	1,100	1,729	2,586	3,500

2023.3期 目標お客様数

医科 10,000件 ・ 調剤 25,000件 ・ 介護 10,000件

株主還元



※ 当社は、2016年4月1日付け及び2018年3月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
上記では2013年3月期の期首にそれぞれの株式分割が行われたものと仮定して表記しております。

【参考】次世代システムが目指す姿

次世代システム

購入が楽	構成やオプションを画面から選択する事で、見積や構成が作成出来る
導入が楽	チュートリアル機能で画面から設定する事で、導入や設定が出来る
習得が楽	仕事別・機能別の単位で、システムの操作性が統一され、それに沿って操作する事で、使い方が学習出来る
保守が楽	プログラムやDBの構造を標準化して、モジュール化・クラス化する事で、保守を容易にする
使いやすい	ユーザーインターフェイスの工夫と、多様な入力方式(タブレット・イメージ・カメラ等)や出力方式(地図・グラフ・音声)
賢い	AI機能を利用した、チェック・リコメンド機能により、業務を楽にしたり、質を向上させる
安い	All in One 1台で全ての業務を実施出来、クラウドでのサービス提供とプラットフォームフリー

- 低コスト化
- セルフサービスに対応

共通エンジンを他社へも供給(医療・介護業界で共通に必要な機能)

安い	業界全体のコスト削減に貢献する
導入が楽	外部からは決められたインターフェイスでパラメータを渡す事で、計算結果を入手可能
保守が楽	計算ロジックを業務プログラムから独立させる事で、改正時の保守が容易になる
保守が楽	計算ロジックを、業務ルールで記述する為、開発者以外でも保守が実施出来る

- 低コスト化
- 品質向上

◇ お問い合わせ先

株式会社 E M システムズ
管理本部 IR担当

〒532-0003
大阪市淀川区宮原1-6-1
新大阪ブリックビル

TEL : 06-6397-1888

FAX : 06-6397-1890



本説明資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があることをご了承ください。